



スポーツ整形外科

私たちは「スポーツ整形外科」と「整形外科の一般的な治療」という2つの大きな柱を通して、皆様と暖かい関係を築き、症状緩和のお手伝いができるように尽力致します。

スポーツ選手のために

スポーツの盛んな鹿児島県において、多様なレベル・種目・年齢のスポーツ選手に対して治療を行い、早期に元のレベルに復帰させることを目的にチーム医療を行なっています。

関節鏡手術

スポーツ選手・関節疾患に対し、早期の復帰を目指して鏡視下手術(膝・肩・肘・足・手・股関節)を行っています。

各教室・フィールドでの活動

予防・リハビリテーションをはじめフィールドでの活動も行います。特に現在行っている地域活動(投球教室・膝靭帯教室・アスレチックリハビリテーション)のほか、競技別の傷害予防の指導や、離島での活動にも力を入れています。

そしてポストコロナに備えて

やがてコロナの感染が収束した際、スポーツ活動が安全に再開できるよう、アジリティーやストレッチの指導を行う予定です。



メインルーム



院内リハビリ室



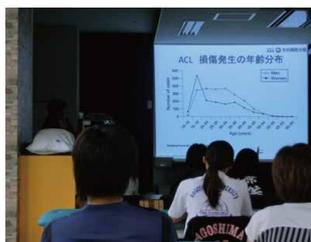
投球教室



障害予防教室



離島障害予防教室



ACL教室



スポーツの身体的なご心配があれば
ご予約の上、お気軽にご来院ください。



リハビリテーション部

治療に伴う安静臥床により身体機能・ADLの低下した患者様が、いち早く元の生活を取り戻せるように、入院早期からのリハビリに力を入れております。



1 入院患者様の70%以上にリハビリを提供

診療科ごとの病棟へ専門のリハスタッフを配置し、主治医・病棟スタッフと連携を図りながら早期リハを提供しています。



2 365日体制で患者様をサポート

切れ目のないリハビリを心がけ、土日祝、年末年始もリハビリを提供しています。



3 超急性期からリハビリ開始

疾患の発症、手術や急性増悪から48時間以内には、不動による筋の変性や筋量の減少が始まるとされています。ICUでは、手術直後や人工呼吸器対応の重症患者様にも、全身状態に応じて離床活動(座位・起立・歩行練習)を促しています。



4 専門性の高いリハビリ

診療科に応じた専門・認定の資格を有するリハスタッフを適切に配置し、最新機器(電気刺激療法)を取り入れた治療を行っております。更に、学会発表等にも積極的に取り組んでいます。

5 嚥下障害への取り組み

脳卒中センターではMASA(嚥下障害アセスメント)を導入し、看護師と連携し誤嚥性肺炎の予防、早期経口摂取に取り組んでいます。また、VE/VFなど客観的嚥下機能評価も積極的に行っています。



リハビリテーション部の紹介動画をYouTubeで配信中!

ぜひご覧ください!

紹介動画